映画

「天国にちがいない」（写真上）イスラエル国籍のパレスチナ人のエリア・スレイマン監督が監督自身を演じ監督も務めた作品。スレイマンは新作映画の企画を売り込むためイスラエルのナザレからパリ、さらにニューヨークへ飛びます。パリには戦車が走り、教会には施しを待つ人々の列。誰もが銃を持つニューヨーク。新作の案はパリでは「パレスチナ色が弱い」と断られ、ニューヨークでは「中東の和平を題材に」という思いが一笑に付されます。パレスチナへの無理解への風刺や笑い、美しい景観や詩的映像とで描き出す独特の世界。本作は「世界をパレスチナの縮図として提示しようと」したと監督はのべています。数々の国際的映画賞を受賞。東京・新宿武蔵野館ほかで公開中、順次全国で。

「けったいな町医者」（写真下）兵庫県尼崎市で開業し、訪問診療にも携わる長尾和宏の日常を描くドキュメンタリー。「最期まで自宅で過ごしたい」「痛くない死に方がしたい」という患者の声に寄り添う長尾。終末期の患者に対する薬の大量投与や胃ろうなど過剰な延命措置に異議を唱え、講演活動や多数の著書を通じ「尊厳死」を提言しています。病院での診察と並行し、次々入る電話を受け自ら運転する車で患者のもとへかけつける多忙な日々。クリスマス会を催したり、患者とのコミュニケーションに積極的な姿があります。終末医療の在り方を考えるきっかけになります。ナレーション＝柄本佑。13日から東京・シネスイッチ銀座ほかで公開、順次全国で。

演劇

劇団チョコレートケーキ第33回公演「帰還不能点」（写真上）脚本＝古川健、演出＝日澤雄介。日米開戦直前の日本。軍事、外交、経済など官民の垣根を越え「総力戦研究所」に集まった若き専門家たち。日米が戦争になったときの未来を予測していました。その結果は…。出演＝浅井伸治、岡本篤、西尾友樹ほか。19～28日、東京芸術劇場シアターイースト。3月13～14日、兵庫県伊丹市・AI・HALL。☎080（9080）1861（チョコレートケーキ）

「子午線の祀り」（写真下）作＝木下順二、演出＝野村萬斎、音楽＝武満徹。源平の合戦で兄に代わり平家軍を指揮する平知盛は一の谷の合戦で源義経の奇襲を受け海上へ追われます。義経は源氏の先頭に立って海戦も乗り越えますます勢いづきます。出演＝野村萬斎、成河、河原崎國太郎、村田雄浩、若村麻由美ほか。21～27日、横浜・KAAT神奈川芸術劇場。3月19～30日、東京・世田谷パブリックシアター。ほか愛知、久留米、兵庫公演あり。☎0570（015）415（チケットかながわ）

文化庁・日本劇団協議会「僕の庭のLady」作＝アラン・ベネット、翻訳＝吉沢みどり、演出＝河田園子。文化庁海外研修の成果公演。かつては世に知られたピアニストだったシェパード夫人。彼女はなぜホームレスになってしまったのか。高齢者、弱者の立場から現代への警鐘を鳴らします。17～23日、東京・赤坂Red/theater。☎03（5909）4600（日本劇団協議会）

音楽

© RYOICHI ARATANI

びわ湖ホールプロデュースオペラ「ローエングリン」（セミ・ステージ形式）3月6、7日午後2時、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール。指揮＝沼尻竜典（写真右、びわ湖ホール芸術監督）。ステージング＝粟國淳（写真左）。出演＝妻屋秀和、斉木健詞、福井敬、チャールズ・キムほか。管弦楽＝京都市交響楽団。合唱＝ブル。☎077（523）7136（びわ湖ホールチケットセンター）

朴葵姫（パクキュヒ）ギター・リサイタル　3月13日午後2時、東京・なかのZEROホール。曲目＝バリオス「大聖堂」、アルベニス「カタルーニャ奇想曲」、マーラー（佐藤弘和編）「交響曲第5番嬰ハ短調」より「第4楽章アダージェット」ほか。☎03（3382）9990（なかのZEROチケット

世界2021「海の聲」vox mari s～ほろびても滅びえぬもの～　3月19日午後6時、京都・宮津会館。出演＝イリーナ・メジューエワ（ピアノ）、吉川真澄（ソプラノ）、水戸見弥子（ピアノ）、佐藤一紀（ヴァイオリン）、春日井久美子（ヴァイオリン）、叶澤尚子（ヴィオラ）、山田真吾（チェロ）、「天かける橋」を歌う会（コーラス）。曲目＝海の幸／天平の面影　浦景有明の詩に拠る二ク）α／β（2013）「ソプラノ&ピアノ」、夏の歌（2014）「ソプラノ」、アマビエ　ヤポネシア民謡集no.2（2020初演）「ソプラノ&ピアノ」、りゅうのこもりうた　現代民謡（2015）「ソプラノ&ピアノ」、天かける橋　宮津天橋高等学校委嘱作品（2019／2020初演）「ソプラノ&ピアノ&弦楽四重奏&コーラス」ほか。☎0772（20）3390（宮津市民実践